

宮古発

新復興大臣政務官来県



第3次安倍改造内閣で新たに就任した高木宏壽復興大臣政務官が、洋野町から宮古市までの市町村長と相次いで会談し、被災地の実情について意見交換しました。宮古市では山本正徳市長が国の財政支援の継続や復興道路の整備など合わせて5項目の要望書を高木政務官に手渡しました。
(10/14 ニュースエコー)

田野畑発

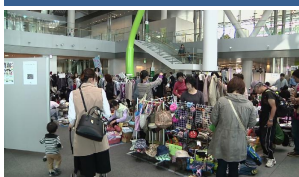
ラッピング列車

三陸鉄道の復興を支援しようと、世界有数の航路を持つトルコの航空会社「ターキッシュ エアラインズ」のラッピング列車が運行を開始しました。列車には、青空を思わせるスカイブルーをベースにした飛行機と、鳥を表す赤と白のシンボルマークが描かれています。列車は来年の10月まで1年間、運行される予定です。
(10/15 ニュースエコー)

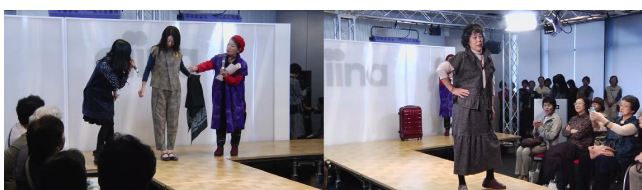


盛岡発

復興支援のバザー



震災被災地の復興を支援しようと、盛岡のアイーナで12回目となる復興バザーが開かれました。個人や被災地のグループが出展し、菓子や衣類、古本などを販売。収益金の一部は災害義援金として被災地に寄付されます。会場では着物をリメイクした洋服のファッションショーも行われ、被災地に贈られた着用を使って陸前高田市と大槌町の仮設住宅に住む人たちが作った洋服も披露されました。
(10/15 ニュースエコー)



大船渡発

校舎再建安全祈願祭

東日本大震災で校舎が全壊した大船渡の赤崎小学校と赤崎中学校の校舎が再建されることになり、工事の安全祈願祭が行われました。赤崎小学校は同じ赤崎町にある蛸ノ浦小学校に間借りし、赤崎中学校はプレハブの仮設校舎で学校生活を送っています。赤崎小学校、赤崎中学校は共に以前の校舎の裏山を造成し再建され、新校舎は来年12月に完成し、再来年1月に開校予定です。
(10/19 ニュースエコー)



完成模型

宮古発

『薪』のプレゼント

冬場の浜の仕事での暖房などに役立ててもらおうと『薪』が宮古市田老地区に届けられました。薪を届けたのは県職員有志で結成された



「森づくり応援団」で、震災直後からボランティアで薪を被災地に送る活動を続けています。今回葛巻町の森林で子供たちが伐採したナラなどの広葉樹合わせて4トンが薪として田老の魚市場に届けられました。これから冬を迎える浜の仕事で薪は欠かせず、身も心も温まる末永い支援に漁業者たちは感謝していました。
(10/20 ニュースエコー)

宮古発

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

今週は、みやこハーバーラジオの田澤紗綾さんが今年で63回目を迎えた「みやこ市民文化祭」について伝えてくれました。みやこ市民文化祭は10月18日から11月15日(日)までの期間で様々な団体の芸術活動が披露されています。舞台・展示・お茶会の3部門があり、舞台部門と展示部門は宮古市民文化会館、お茶会は山口公民館を会場に開催されます。
(10/21)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibt.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122